

研究会のあゆみ (2007年5月02日～2008年1月30日)

第133回：07年5月02日(水)

古川 直樹 「ファズロッラー・ザーヘディー首相期(1953-1955)における
イラン政治について」

第134回：07年5月16日(水)

浅野 健 「過疎地における経済特区を活用した有償運行制度について」

第135回：07年6月12日(火)

水野 裕子 「パキスタンの聖者信仰に関する文化人類学的研究
—師弟関係と靈魂観からみた宗教世界の一考察」

第136回：07年7月10日(火)

何 資宜 「太宰治「女生徒」試論 —少女の生活日記が「女生徒」
(フィクション)になるまでの改変を中心に—」

丘 静儂 「志賀直哉「網走まで」論 —初期作品における子供像に
ついて—」

第137回：07年8月5日(日)

鶴田 くみか 「中国における観光事象の人類学的研究」

福井 譲 「日本の植民地支配(1910～45年)と朝鮮人渡航管理政策
の変容に関する研究」

第138回：07年10月11日(木)

光武 昌作 「広島市における有機農産物流通」

越智 郁乃 「墓と故郷 —現代沖縄における「墓の移動」を通じて—」

第 139 回 : 07 年 11 月 13 日 (火)

藤 小春 「指示詞“那”の後ろに数量詞をつける問題について
—認知心理学上の考察—

古川 直樹 「近現代アフガニスタン政治の展開とカルザイー政権の
課題 —19 世紀末から 20 世紀までの政治統合をめぐる—」

第 140 回 : 07 年 11 月 26 日 (月)

三野 園子 「中国の国語教育 —課程標準を基礎資料として—」

第 141 回 : 07 年 12 月 21 日 (金)

片岡 えつ子 「根源的意識としてのアラヤ識の研究」

近藤 詩織 「日本におけるキリスト教聖堂の建築構造とその宗教的
空間の創出について」

第 142 回 : 08 年 1 月 7 日 (月)

部谷 由佳 「西サハラ問題の段階的要因と国際社会 —アフリカ
最後の「植民地」の自立と共存に向けて—」

津永 喜代子 「フランス近代における「におい・香り」の社会的影響に
ついての研究」

第 143 回 : 08 年 1 月 30 日 (水)

合原 収 「環境に配慮した持続可能な交通 (E S T) を加味した
交通ネットワークの検討 —地方の政令指定都市を事例として—」

本研究会は、総合科学研究科並びに社会科学研究科、国際協力研究科のアジア地域を研究対象としている大学院生及び研究生によって企画・運営されています。研究会での議論の成果の一部がこの論文集となっています。